

1月17日(木)の新年会でお会いしましょう!

中澤きみ子さんのバイオリン演奏



関東同窓会は1月17日(木)に千代田区一ツ橋の日本教育会館で恒例の新年会を開催します。今年のアトラクションは、国際的に活躍するバイオリニストの中澤きみ子さんの特別演奏です。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

中澤さんは上田梁谷丘高校の出身。オーソリアのザルツブルク・モーツァルテウム音楽院を最優秀で修了後、欧米諸国など世界各地で演奏活動を展開し、高い評価を受けています。2000年には文化庁芸術家海外派遣員としてウィーンに派遣されました。東日本大震災の被災者支援活動も続けており、9月にはNHKの「おはよう日本」に出演。バイオリン製作者のご主人が震災の流木で作ったバイオリンで「からたちの花」を演奏し、大きな反響を呼びました。

新年会では愛用のストラディバリウスで、グノーの「アヴェ・マリア」などを丹内真弓さんのピアノ伴奏で演奏します。1月27日には銀座の王子ホールで中澤さんのコンサートが開かれます。(P2参照)

【日時】1月17日(木)
18:00 受付開始
18:30 開会 (バイオリン演奏会)
19:20 懇親会

【会場】東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
日本教育会館9階 喜山倶楽部
TEL: 03-3262-7661

【会費】5,000円

- 地下鉄新宿線・半蔵門線神保町駅 (A1出口)
三田線神保町駅 (A8出口) 下車徒歩3-5分
- 地下鉄東西線竹橋駅 (北の丸公園側出口)
下車徒歩5分



金子宏氏(47期)が文化功労者に

租税法を独立した法分野として体系化



同窓生の金子宏東大名誉教授が2012年度の文化功労者に選ばれた。金子氏は税法学の第一人者。「租税法」という新しい分野を開拓し、独立した法分野として築き上げる努力をしてきたことが評価され、大変うれしい」と受章の喜びを語った。

上田市殿城出身。1943年に旧制上田中学に入学し、49年に上田松尾高校を卒業。戦争中は軍事教練や勤労奉

仕が多く、十分に勉強ができなかったという。「校長先生が有名な英語教育者だったこともあって英語クラブに入った。戦後、文化祭で米国の独立宣言を暗唱したことを覚えている」と振り返る。

東大法学部を卒業後、助手、助教授を経て66年に租税法専門の教授に就任。この間、政府の税制調査会委員も長く務め、研究成果を制度改革に役立てたほか、途上国の税制整備にも貢献した。

76年に出版した「租税法」は17版を重ねる名著。「もう82歳ですが、健康が許す限り、これからも研究を続けていきたい」と語った。

第51回総会に294人、若い世代増える

宮原氏の講演、同窓生プロの演奏で盛り上がり



宮原巍氏の講演会



宮原巍氏

関東同窓会は7月1日、東京・千代田区の如水会館で第51回総会・懇親会を開催した。今回の参加者は294人で、1999年(第38回)の295人以来の大盛況となった。特に80期以降の若い世代が52人と大幅に増え、同窓会の裾野が少しずつ広がっていることを感じさせた。



同窓生プロミュージシャンの演奏

続いて開かれた総会では、滝澤進会長(61期)がITの活用、若手会員の取り込みなど5つの柱からなる「アクションプラン2012」を実行する決意を表明。任期満了となった栗山正雄幹事長(62期、副会長は継統)の後任に、副幹事長の丸山暢久氏(65期)を選出した。

この後、隣の大ホールに会場を移して演奏会を開催。プロミュージシャンの荻原松美氏(85期、打楽器)と夫人の西田紀子さん(フルート)、窪田健志氏(99期、マリンバ)が「木曾節」「コパカパーナ」などの曲を演奏し、万雷の拍手を浴びた。

懇親会の談笑が続く中、若手を代表して109期と110期の男女4人が登壇してあいさつ。中山結さんは吹奏



65期の応援団OBのリードで校歌斉唱



109、110期の4人

楽班がOB会設立を計画していることを紹介し、元班員に登録を呼びかけた。さらに元応援団長の西村賢治氏ら65期の応援団OB4人が「団長拍子」などを披露し、参加者全員で校歌、凱歌などを高らかに斉唱。会場の熱気に誘われたのか、出席者最年長の手塚敬一さん(44・5期)ら大先輩4人が突如登壇して戦時中の思い出を話すなど、懇親会は最後まで大いに盛り上がった。

モーツァルト+1シリーズ vol.3 ~モーツァルトの誕生日に贈る~



中澤きみ子 with アンサンブル・ウィーン東京

1月27日(日) 開演 13:30 (開場 13:00) 王子ホール (銀座三越裏)

チケット: 一般 5,000円 学生 2,500円 (全席指定)

主催: コンサートオフィスアルテ TEL 03-3352-7310



長老。パワーまだ健在

85―82歳 元海軍軍人の4人

7月1日に開かれた第51回上田高校関東同窓会。懇親会場には46期以前の「長老席」が正面近くに準備され、着席したのは44・5期2人、46期2人の計4人。多くの後輩が代わる代わるあいさつに来てくれた。

くしくも、4人は顔見知りの元帝国海軍軍人だった。終宴近くに4人が壇上上がり、同窓会の盛會と発展を祝して後輩を激励。ついでに海軍時代の口調で「姓名申告」(官、姓名を名乗れ!)をした。



あいさつする手塚敬一氏(左から2人目)

- 【姓名申告】
- ▽川辺村出身 44・5期 手塚敬一(85) 海軍兵学校第76期生
 - ▽軽井沢町出身 44・5期 柳沢廣(85) 甲種飛行予科練習生(予科練)。三重海軍航空隊にて予科修了。富高(現宮崎県日向市)岩国航空隊にて実践・特攻訓練後、霞ヶ浦・郡山の各海軍航空隊基地にて戦闘配備中に終戦。

また、質問の多かった卒業期の44・5期と44・4期の区分について説明した。上田中学は本来5年制だったが、戦時中に1年短縮の4年制となり、1945年(昭和20年)の卒業生は40年入学の5年生と41年入学の4年生が同年卒業になり、双方とも44期生となった。44・5期の接尾の5は5年制を意味している。名古屋に勤労働員されていた5年生は、半月遅れて軍需工場で形ばかりのささやかな卒業式を行った。



総会・懇親会に参加した80期の皆さん

「80期の皆様へ」という案内状が丁寧で真摯な文だったこと、もう1人の代表幹事に同じ5組の長谷川剛君の名前があったことで懐かしくなり、参加の返信を出しました。その後、クラス幹事をさせていただくことになり、久しぶりに連絡したクラスメートと電話で話したり、会ったりすることができました。高校を卒業して30年。総会では久しぶりに会う

原(旧姓荻原)久美(80期)

初めて参加、楽しいひととき

卒業後30年 同期生21人が参集

7月1日に開かれた関東同窓会の総会に初めて参加させていただきました。これまで関東同窓会に

も、本部の同窓会にも出席したことはなかったのですが、今回は代表幹事の曾田(旧姓山田)信子さんから送っていただいた

幅広い世代の同窓生と一緒に歌った校歌や凱歌。久しぶりですがすがしい気持ちになり、高校3年間は特別で濃密な時間だったと、あらためて思いました。家に帰ると、何気なく「秋玲瓏の空衝きて〜」と口ずさんでいる自分がありました。

その後10月6日には、上田で開催された本部同窓会の「会員大会」にも初めて参加しました。上田や関東同窓会をはじめ各地の同窓会は、役員や幹事の皆さまの努力で伝統がたがっていきなり知りませんでした。今回参加できなかった同期や先輩、後輩の皆さん、若い世代の皆さんにも、ぜひ参加していただきたいと思います。

- ▽上田市出身 46期 丸山浩一 海軍兵学校第78期生
- ▽小諸市出身 46期 清水巻郎 海軍兵学校第78期生
- 【追記】 44・5期の同期会は44期生の「しし」から「上中獅子会」と称し、毎月16日(4×4=16)に合し、毎年10月16日には本部総会を開催し、10人(本部より2人)が出席した。

を主催している。1992年には卒業44周年を記念して、獅子会誌「戦時下を生き抜いた中学生の青春」を発行。古城の門を出で入りにて」を發行。東京獅子会は毎年1〜2回開催、今年は6月28日に原宿の水交会で

た級友も何人かいましたが、年月の流れは不思議で、楽しいひとときを過ごしました。みんなそれぞれの場所でも頑張っていることを知り、私もまた新しい気持ちで頑張ろうと素直に思えた貴重な時間でした。

80期は21人集まったそうで、高校時代はお話したことがない皆さんとも話げできました。大先輩のお元氣な姿には勇気をいただきましたし、現役大学生や後輩の皆さんを応援したいという思いにもなりました。

会員の皆さまへ

関東同窓会会長 滝澤 進 (61期)



昨年1年間の会員の皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。今年初めての行事として、1月17日に郷土出身の著名なバイオリニスト中澤きみ子さんをお招きして、新年会を開催いたします。皆さまのご参加をぜひともお願い申し上げます。

当同窓会では、この1年、総会、新年会の開催、会報の発行などに加え、新たにアクションプランを策定し、推進を図ってまいりました。

アクションプランでは、同窓会を「より身近な存在」として会員の皆さまに実感していただけるよう、ホームページの全面改訂、若手層の取り込み、学生の社会デビュー支援、俳句同好会の発足、講演会の開催、女性同窓会の開催などを企画し、順次実施に移しております。

本年も、会員の皆さまのご期待にお応えできるよう、活動の充実に努めてまいりますので、いっそうのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

アクションプランの進捗状況

▼情報提供の推進

(ITの活用)

丸山暢久幹事長(65期)を委員長とする「IT推進委員会」を設置。IT環境の整備と魅力的なホームページ(HP)作りの検討を重ね、HP改革案が承認された。既にHPを設置するサーバーを変更し、容量を1GBから10GBに増量した。

HP改訂の基本方針は次の通り。

- これまでに蓄積されたほとんどのコンテンツは継続活用する。
- 新たな音声、動画コンテンツも受け入れ可能にする。

• 会員相互のウェブ上での意見交換を容易にするため、掲示板に加えてブログ機能を付加する。

• メニューを整理統合し、HP全体を見やすくする。サイト内検索機能を持たせる。

• 新規HPは2013年1月1日に公開する予定。(P24参照)

▼若手会員層の取り込み

上原昇副会長(65期)を委員長とする「若手会員対策実行委員会」を設置。

11月19日には、今後の同窓会の中核期となる60期後半の代表が集まって「筆頭幹事期連絡会」を開催。各期の結束力強化について意見交換し、総会の運営実行についてのノウハウ継承を図った。

若手世代の期では代表幹事不在の期がたくさんある。このため、まず70期、80期台の幹事不在期について、代表幹事または期幹事を選定するよう働きかけている。また、現在改訂中のホームページを活用して若手会員へのアプローチを強化することや、部活OB人脈を生かしての若手会員発掘に努めている。

▼学生会員の社会デビュー支援

栗山正雄副会長(62期)を委員長とする「社会デビュー支援活動委員会」を設置。

8月に第1回会合を開き、今後の活動計画を策定した。

まず、学生会員の切実な問題である就職活動の支援を柱とすることとし、学生会員のOB訪問を受け入れてもらえる社会人の会員登録を進めるため、9月の幹事会で各期内に呼びかけるよう要請した。

募集の内容は会報P7を参照。

▼会員交流の促進

小松正佳副会長(64期)を委員長とする「会員交流推進委員会」を設置。

俳句同好会の立ち上げを企画し、8月からスタートした。講師は児玉一江さん(62期)、世話人は小山平六さん(62期)。句会の名は「やまびこ句会」とした。(P5参照)

母校での社会講座で好評を博した丸山瑛一相談役(51期)の「赤松小三郎と明治維新」の講演会を

▼女性会員交流の推進

水島良子副会長(67期)を委員長とする「女性会員の会実行委員会」を設置。

7年ぶりに女性同窓会を開催することを決め、9月初めに約300人に案内状を送付。10月中旬に女性役員会を開いて開催の準備を進めた。

10月27日(土)、東京都港区芝公園の「とうふ屋うかい」で第5回女性同窓会を開催し、29人が参加した。(P5参照)

鍛造・熱処理・機械加工の一气通貫の部品生産により
建設機械・産業車両メーカーから好評を頂いております



株式会社 コミヤマ

常務取締役 小宮山 始 (73期)

〒384-0083 長野県小諸市大字市950番地
Tel 0267-22-2311 (代) Fax 0267-22-2313



7年ぶりの女性同窓会

52期から87期まで29人参加



7年ぶりの女性同窓会を10月27日(土)、港区芝公園の「とうふ屋うかい」で開催しました。52期から87期まで年代も幅広く、遠くは岩手、静岡、佐久から新幹線で駆けつけてくださる方もいて、29人の参加となりました。

半分近くの方が初参加で、「ドキドキしています」との返信葉書に、迎えるこちらでもドキドキでした。そんな中、会長、副会長経験者の皆さんや今までの女性の会に

ご尽力くださった先輩がお忙しい中、出席して下さったことは本当に心強いことでした。

まずは女性第1期生の浜野志めさん(52期)の乾杯に続き、蔵造りの素敵な和室でおいしいお料理を目と舌で楽しみながら、しばらく歓談。そしていよいよお待ちかねの自己紹介に移りました。

時間も限られる中、皆さんのトークの上手なことさですが上田高校の同窓生と嬉しくなりまして。思いがけないお話に「わあー」と驚きの声。キャリアウーマンや会社を経営している方、税理士さん、先生だった方、地域活動で活躍されている方。介護中、介護が終わった、やっと時間ができたからいろいろやりたい方。震災の話から趣味の話まで、どの方のお話も素晴らしく興味深いものでした。

「私、3中出身です」と言う72期の渡邊さんの声に「私もよ」とあちこちから手刺交換もみられました。52期

の浜野さんが「皆さん、おしゃれでとても奇麗」との褒め言葉。男性の中で地味に過ぎざるを得なかった高校時代を振り返っての発言でした。明日への元気を蓄えて笑顔のうちに閉会となりました。2000坪もある敷地の中の庭

俳句同好会が発足

講師は児玉一江さん(62期)



前列右から2人目が児玉一江先生

関東同窓会のアクションプラン「会員交流の促進」の一環として「俳句同好会」が発足しました。会員数は現在13人。俳人森澄雄に師事された児玉一江さん(62期)に先生をお願いし、句会は毎月第2金曜日の午後、都内の公共施設を借りて開催しています。

水島良子(67期)

園を散策し、お土産処で家族にお土産を買って、名残惜しく解散しました。その後、時間のある方は予約してあった近くの喫茶店でお話の続き。話は尽きませんが、またの再会を楽しみに別れました。

初回は8月10日、文京シビックセンター会議室に8人の会員が集まり、児玉先生にご指導いただき、頭をひねりながら1人5句を作成しました。

句会の進め方は、参加者の投句を手分けして清記し一覧形式の句表(A3版)を作成し、人数分コピーして配布。各自が句表から良いと思う句を選び、詠みあげ、選句の理由を述べます。最後に先生がその日の入選と佳作を決め、講評するという手順です。

「初めてにしては、皆さんの句は素晴らしくいいと思いました。細かく言えばいろいろあるのですが、第一段階と

しては大成功」(児玉先生)とのことでした。

当初、「句会」は難しいものかと想像していましたが、予想に反し、参加者が同じ時間と場所を共有しながら「この情景がとても良い」「この表現が面白い」などと、ときには自分の体験談などを折り込みつつ、それぞれの句について忌憚なく意見を述べ合うやりとりが、次第に面白くなってきました。

句会の名称は、児玉(こだま)先生にかけて「やまびこ句会」としました。山国信州にもふさわしいかと思えます。

事務局 (TEL: 047-396-5731 E-mail: kannazuki-6318@kxb.biglobe.ne.jp) 小山平六(62期)

やまびこ句会(8月~11月)

- 池の辺に月の出を待つ花すすき (一江)
- あれなかに 孫の指さす蝉の殻 (奉男)
- 七夕の願ひよ届け東北へ(伸吉)
- 満月や冠着の峰今遠し (正佳)
- 秋晴れやひとり鯿釣る河川敷(貴美)
- もち大樹倒して広き秋の空(太郎)
- 山の端の見え隠れして霧動く(隆治)
- 満天星の染め残りなき紅葉かな(正雄)
- 鳴く虫に出迎へられて墓参り(平八)
- 谷深き遍路の径に野紺菊(由美)
- 亡き母の声の聞こゆる落葉焚き(前歩)

「赤松小三郎と明治維新」

丸山瑛一氏(51期)が上田で講演

母校の生徒や地域住民らを対象に開かれる社会講座が10月20日、上田高校同窓会館で開かれ、関東同窓会元会長・相談役の丸山瑛一氏が「赤松小三郎と明治維新」について講演した。丸山氏の生家には今年3月に「赤松小三郎記念館」が開館したばかり。会場のホールには学生、同窓生、地域住民ら111人が詰めかけ、スライドを使って分かりやすく説明する丸山氏の話に聞き入った。

赤松小三郎は上田藩出身の幕末の兵学者。坂本龍馬の「船中八策」が発表される1カ月前に、幕府の重鎮で福井藩主の松平春嶽に民主的議会の設立などを求める建白書を提出している。にもかかわらず、今まで歴史の中ではあまり注目されてこなかった。

丸山氏は赤松が江戸に出て、勝海舟の塾に入門するいきさつ、勝の従者として長崎の海軍伝習所に入り、オランダ語の通訳を務めた話などを披露。松平春嶽への建白書では、選挙で選ばれた2院制議会の開設などを提案したが、天皇の拒否権を否定するなど、あまりにも内容が革新的だったために採用されなかったと解説した。

京都で兵学塾を開いた赤松は、上田藩の厳命で帰藩する直前の1867年(慶応3年)9月3日、門下生の中村半次郎(桐野利秋)ら薩摩藩士によって暗殺された。しかし、丸山氏は桐野らに暗殺を命令した人物がいると推測。桐野が心酔していた西郷隆盛が黒幕だったことを示唆した。

講演の要旨

赤松小三郎はあまり歴史の中に出てこない。なぜか幕末史では抹殺されている。

彼は天保2年(1831年)に上田藩の下級武士、芦田勘兵衛の2男に生まれた(後に同藩士赤松弘の養嗣子になる)。そろばんと和算が得意で、18歳で江戸に行き、内田弥太郎の数学塾「マテマテカ塾」に入門。さらに下曾称信敦の塾でオランダ語を学んだ後、勝海舟の塾に入った。

勝海舟とともに長崎の海軍伝習所に入り、オランダ語、航海術などを学んだが、身分の低い赤松は正規の伝習生にはなれず、勝の「組外従士」(従者)として参加。勝がオランダ

軍人から兵学を学ぶ際には通訳を務めた。海軍伝習所の閉鎖後、江戸に戻り、英国騎兵士官から英語を学び、同士官の勧めで慶応元年(1865年)に「英国歩兵練法」を翻訳出版した。その後、京都で兵学塾を開塾した。塾には薩摩、会津などから多くの塾生が集まった。また、薩摩藩の京都藩邸で英国式兵法を教授した。

慶応3年(1867年)5月17日に開国派の福井藩主松平春嶽に建白書を提出した。だが、上田藩から帰藩命令を受けて帰る直前の9月3日、京都・東洞院通りで白昼暗殺された。37歳だった。

同年6月15日に坂本龍馬が「船中八策」を起草。その2項目に「上

下議政局を設け。議員を置き」と記しているが、これは赤松小三郎が松平春嶽に提出した建白書とそっくり。

赤松は建白書の中で①上下2局の議政局開設②人材教育に大学・小学校・兵学校等の設置③国中の人民皆平等④国中の貨幣統一⑤国防の陸海軍兵備、などを訴えている。

特に議政局については「選挙で選ばれた130人の下局(衆議院)と諸侯から選挙で選ばれた30人の上局(貴族院)からなる議政局ですべての国事を決議する」「もし天朝の許容が得られない場合は、議政局に差し戻し、再度議決された場合には天朝に建白するのみで、議政局から布告することができる」としている。

後段の項目は「天皇がノーと言った場合は議会に差し戻し、議会が再議決すれば、天皇の許可はいらない」というもの。これは革新的な考

えて、明治憲法には取り入れられず、戦後の日本国憲法になって初めて取り入れられた。坂本龍馬より1カ月前に、議員定数を決めて2院制を提案した赤松の建白書はあまりに革新的だったため無視されたとみられる。民主的議会を日本で初めて提案したのは赤松小三郎だった。

京都で赤松を斬り殺したのは、赤松の門弟で「人切り半次郎」と呼ばれた中村半次郎(後の桐野利秋陸軍少将)と田代五郎左衛門ら薩摩藩士。昭和40年ごろ発見された桐野利秋の「京在日記」に詳しく書かれている。誰から命じられたのかは書いてないが、桐野は西郷隆盛の側近中の側近。これは想像だが、暗殺を命じた人物がいるとすれば、西郷しかいないと思う。

講演会のご案内

上田で好評だった社会講座「赤松小三郎と明治維新」の講演会を、東京でも開催いたします。

講師：丸山瑛一氏(51期)

日時：2013年3月2日(土)午後1時

会場：日本教育会館9階、喜山倶楽部

(場所はP1の地図参照)

会費：1,000円

お申し込み、お問い合わせは小松正佳まで

電話：090-9102-1926

E-mail：masayoshi.komatsu@hotmail.co.jp



上田ゆかりの偉人

上田から夢を追った男 山本 鼎

神田愛子 (65期)



に西洋医学を学ぶべく上京した父を追って、母親と2人で東京に出る。父一郎は、森静夫(文豪・森鷗外の父)の医院に書生として住み込

山本鼎は、残念ながら信州上田生まれではない。愛知県岡崎市生まれ(1882年、明治15年)である。5歳まで岡崎で過ごし、先

み、医学校に通った。

小学校を卒業した鼎は、家計を助けるために芝・浜松町の木版工房で桜井虎吉の弟子となり、腕を磨く。この間、父は長野県小県郡神川村の大屋で開業する。鼎はもつと創造的な仕事をしたいと、東京美術大学に入学。その後、フランスに留学する。パリで4年間勉強し、陸路で帰国する途中にロシアに滞在したことが、後の鼎の仕事に多くの影響を与えた。

帰国した鼎は、友人の詩人・北原白秋の妹いえと結婚。新居は東京、実家は信州。

鼎の大きな仕事の一つに、児童



上田城址公園内にある山本鼎記念館

自由画運動がある。ロシアのモスクワで衝撃を受けた児童の伸び伸びとした絵。帰国後すぐに信州の神川村に帰った鼎は、神川小学校の先生たちを集め、この運動を呼びかける。

当時の小学校では、「臨画」と呼ばれるお手本を書き写すのが絵の時間だった。これでは、子どもたちの本当の創造性が育たないと考えた鼎は、描きたいものを自由に描かせなさいと先生たちに訴える。その5カ月後、神川小学校では初の児童自由画展が開かれ、大

盛況をおさめた。

この成功を機に、鼎は第2の仕事、農民美術運動に取りかかる。神川村国分の青年、金井正と村越修蔵の援助を受けて、翌年、農民美術練習所の開所式を、同じ神川小学校で開いた。冬の農閑期に、木っ端を削り人形を彫って色を塗り、それを売って農民を豊かにし、暗い農村を明るく文化的にしようとする鼎の夢があった。

しかし世界大恐慌と太平洋戦争のおおりを受けて、鼎の事業は資金難から閉鎖に。多大な借金を背

負った鼎は、脳梗塞で倒れる。終戦の翌年、鼎は疎開先の上田の病院で腸捻転のため死去。享年64。大輪寺に墓がある。

鼎の精神は今でも、信州上田に生きている。上田城跡公園内には山本鼎記念館が建てられ、多くの市民や観光客が訪れている。残念なのは、神川村大屋にあった農民美術研究所の跡地に何も残っていないことである。

(筆者の神田愛子さんは上田市在住。2009年に信濃毎日新聞社から「山本鼎物語」を出版)

大学生会員の社会デビュー支援

OB訪問を受けていただける社会人会員募集

大学生の就職が厳しいことは、新聞報道などでご存知のことと思います。上田高校を卒業し現在大学で学んでいる後輩たちのために、関東同窓会は「社会デビュー支援」を開始します。

つきましては、後輩たちのためにOB訪問を受けていただける方を募集いたします。お引き受け可能な方は、同封の返信はがきでお知らせいただくか、下記のアドレスにメールをお送りください。詳細をお知らせいたします。

【社会デビュー支援の内容】

大学生会員からのOB訪問希望を事務局で受け付け、希望に沿う社会人会員を紹介。大学生会員は紹介された社会人会員に直接連絡して訪問する。

【OB訪問を受けていただける社会人会員の役割】

訪問を受けたら、業界や所属企業などに関する情報提供のほか、どのような仕事があり、どのような人材が求められているかなどを説明した上で、要望があれば相談に乗る。

【連絡先】

上田高等学校関東同窓会 学生会員支援事務局 倉沢 裕(69期)
E-mail: kurasawa_hiroshi_keyakidai@yahoo.co.jp

OB訪問を希望される大学生会員の皆さまへ

関東同窓会では上記のようなスキームで、皆さまの就職活動の支援を考えております。OB訪問を希望される方は上記の連絡先までメールをお送りください。

各分野の講師の皆さん

文学	西澤文昭	(63期)
薬学	原田義則	(65期)
国際学	小松進	(68期)
工学	宮川俊晴	(68期)
法学	滝澤修一	(70期)
マスコミ	五十嵐洋人	(78期)
教育学	竹鼻ゆかり	(79期)
理学	松原隆彦	(83期)
体育	相馬貴子	(84期)
保健看護学	吾妻こずえ	(91期)
芸術	押金美和	(94期)
医学	平野龍亮	(94期)
心理学	渡邊智之	(94期)

上田高校で社会講座

各分野の同窓生 13 人が講義

上田高校の社会講座が9月13日に開かれ、社会の第一線で活躍する同窓生13人が講師として母校で講義しました。この講座は同窓会の協力で2003年から1年生を対象に毎年開かれており、今回で10回目。

関東同窓会からは西澤文昭氏(63期)、原田義則氏(65期)、宮川俊晴氏(68期)、竹鼻ゆかり氏(79期)らが派遣され、各クラスに分かれて90分間講義。豊富な経験に基づく内容の濃い「特別授業」を受けた生徒たちは真剣な表情で聞き入っていました。

4人の講師の皆さんから、当日の講義内容や感想が寄せられましたので、ここで紹介します。

パリ国際大学都市と日本館

西澤文昭(63期)

私は1946年12月3日、埴科郡南條村(現坂城町南条)に生まれました。ということは今日ここにいる皆さんとは50歳違いということになります。

1966年4月に東京大学に入学。2年生後期に教養学科フランスの文化と社会に進学し、最先端の方法でフランス語を本格的に習い始めました。最先端といってもテープレコーダと発音・イントネーションがよくできる先生がいた

ということでしたが、毎日、何時間も発音練習をし、文法・単語を覚えました。寮の同僚には迷惑をかけたことと思います。

ところがやがて「大学紛争」となり授業はほとんどなく、奨学金も切れて、極貧生活に入りました。安田講堂の攻防があったころには既に打ちのめされた気持ち支配的で、結局は敗北感をもって大学の試験を受けました。ほかに道がなかったのです。受かったもの

の、卒論提出が遅れたため、学部卒業はさらに数カ月後の1971年6月でした。

すぐに仏語仏文学修士課程に進学し、留学を経て母校の助手になるという幸運に恵まれ、教員の道に入りました。

2001年4月より3年間、外務省に出向の形でパリ国際大学都市日本館の館長となりました。パリ国際大学都市というものと、今から83年前の1929年5月に開設された日本館についてお話しします(以下は省略します)。

キャリア・パスを考える

原田義則(65期)

私の「薬学」クラスには29人の聴講者があり、PCが数十台設置された階段状の情報処理実習室で実施。「キャリア・パス(Career path)」を考える」と題して講演しました。

こうした講義は大学生や大学院生を対象として既に何度もしていますので、今回は高校1年生が対象であると一応は意識して分かりやすいプレゼン資料を準備し、事前配布したつもりだったので、私、私その認識は不十分でした。そもそも「キャリア・パス」と

という言葉を知っている生徒がゼロだったものですから、出だしから基礎用語の説明を強いられ、いささか苦戦しました。

とはいえ、自らの人生の4回の大きな転機で考えたこと、それに対する現在の評価など、私の伝えたかった「人生は何歳になっても(ある程度)やり直しは可能」「批判するだけでなく、提案力を磨いてほしい」などは十分伝わったものと思われ、一定の成果を上げたのではないかと自負しています。最後に、現在私が教員をして

いる筑波大学へぜひ進学してほしい、との大宣伝(今年の新入生は5人)をして、無事終了しました。こちらから質問を強く催促するまで質問が無いなど、多少の不満は残りましたが、この講義の司会進行は生徒自ら実施するスタイルで、もちろん不手際は多々ありましたが、好感の持てるものでした。長野県においても公立の中高一貫性学校の整備や、私立高校の強化、教育制度改革などの影響で上田高校の生徒の相対的学力低下は現実のようですが、これからも何らかの形で支援していきたいと思わせる生徒たちでした。



福島事故、原子力の安全性

宮川俊晴 (68期)

教室に集まった「工学」や「福島の事故」「原子力の安全性」に関心があるという14人の1年生と数学の柳沢哲夫先生の15人で、社会講座が始まりました。

福島事故の概要を含め、原子力発電所の必要性について1973年のオイルショック時の国際社会・世界経済の混乱から解き、過去40年間の家庭の電気利用の推移、わが国のエネルギー消費の推移、70年代に建設した原子力発電所の寿命後のリプレースの必要性、高齢年化していく原子力発電所の技術課題と必要な技術者、そして現在、私が勤務している日本原燃(株)の原子燃料サイクル事業の現状と必要な技術力などを

を解説しました。

まとめとして、原子力事業者が求める人材は①原子力を幅広く理解し、開発・管理・運営の全体を俯瞰し企画・調整できるゼネラリスト②専門知識を生かし、個別の課題解決ができるスペシャリスト③原子力について地域との橋渡しし、国際的に活躍できるリエンジンニアアの3つのタイプがあることをお話ししました。

在校生の皆さんには、高校時代を大いに楽しみ、「高い志」と「チャレンジ精神」を持って世界にはばたいてほしいと願います。

なぜ教員になりたいのか

竹鼻ゆかり (79期)

私は現在、東京学芸大学において教員養成に携わっております。当日は40人ほどの教員志望の生徒が参加するなか、教育学部の様子や、教員になるまでのステップ、現代の教育課題などについてお話ししました。

未来の日本を支える子どもを育てる教員という職業は、素晴らしい反面、大変なことも多くあります。そのため生徒には、進路選択にあたり、何故自分は教員になりたいのかを問うたつもりです。

最後の質疑応答で「先生になって一番よかったと思うことは何ですか」と尋ねた男

子生徒に、将来を考える真剣な思いが伝わってきました。

ちなみに、講義途中の息抜きかつ、教育を考えるヒントとして「四角を一つ、丸を二つ、三角を三つ、書いてください」と指示しました。私としては、自由な発想で自由な形が書かれることを期待していましたが、生徒のほとんどが「一列並びに小さく図形を書いたことには、ちよつと驚きました。生徒たちには、「上田高校生気質、健在なり」と自由に大きく育ってほしいと願わずにはいられません。

矢島基美上智大教授 (72期) が講演 本部の会員大会



本部同窓会の「会員大会」が10月6日、上田東急インで開催され、72期の矢島基美氏(上智大学法学部教授・前副学長)が「当世大学事情—大学の置かれた状況と、そこで教え、学ぶ者たち」という演題で、320人近くの会員を前に講演を行なった。

矢島氏は、「冬の時代」を迎えた大学を取り巻く環境や経営の実情、呻吟する教員の心情など、副学長の経験をも踏まえ、約1時間熱く語り、今後は大学の機能別分化が進むであろうと述べて話を結んだ。

なお、本部総会は、本年度から春に代議員を集めて行われ、従来の総会・会員大会は会員大会のみでの開催となった。

栗山正雄 (62期)

天然酵母田舎パンの店

ルヴァン Levain

ふるさとへ帰って来たら
ぜひ立ち寄ってください

オーナー 甲田 幹夫 (65期)

富ヶ谷店：渋谷区富ヶ谷 2-43-13 TEL 03-3468-9669
信州上田店：上田市中央 4-7-31 TEL 0268-26-3866



よう
東京九段 耀画廊 開設

画廊主 富田光明 (62期)

大学退職を機に画廊を九段に開設。
若手作家の応援と発掘を目指しています。
また画壇実力作家企画展も開催しています。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2丁目 8-5
TEL 03-5357-1960 FAX 03-5357-1959
URL : www.yohgarou.com



米国女性との結婚第1号

上田藩主の弟 松平忠厚

宮原安春（58期）



松平 忠厚

だが、1871年、廃藩置県によって藩主の地位を失った。ここで、兄弟はそろって渡米し、ニュージャージー州のラトガス大学に私費留学した。藩主兄弟が留学することは、この時代でも異例

最後の上田藩主兄弟は、進取の精神に富み、開明派で大胆だった。

明治維新の時、上田藩主（5万3千石）の忠礼は18歳。1歳若い弟の忠厚は飛び領地・更級郡塩崎村（5千石）の領主になっていた。この兄弟が幕末に伝来したばかりの写真術を研究し、自らや家来と一緒に撮影した写真や、藩主が若い部下を従えて鼓笛隊を指揮している写真もある。



妻のカリー



松平忠厚（左から2人目）と家来たち

忠礼は1878年に理学部の全課程を終えて帰国。忠厚は工学部の課程を終えて一緒に帰国するは

ずだった。けれどもこの時、忠厚は消息不明になってしまった。後に忠礼が弟に当てた手紙が残っている。

「昨秋小生帰朝のみぎり、突然御逃匿の件は、小生帰朝後内外に對し面目を失し、その不体裁なる、実にいふ可からざりき」

忠厚に何があつたのか。彼は忠礼の帰国の船が港を出た後、ラトガス大学の前にあつた本屋の娘カリー・サン普森とニューヨークで結婚したのだ。カリーは19歳の美少女である。忠厚はダンディーな男だった。結婚の記録は英米では公文書に保管されているので事実である。2人が結婚したのは1879年だ。これはいまままで日米結婚第1号と言われた新渡戸稲造と米国女性メリー・エルキントンが結婚した1890年よりも11年も早い。

忠厚とカリーは新婚当時から順風満帆の生活だったようだ。最初にマンハッタン高架鉄道会社に入り、ブルックリン・ブリッジの建設設計を任せられた。彼が考案した三角測量の器具はニューヨーク・タイムズなどで賞賛された。その後、ユニオン・パシフィック鉄道に測量士として転職し、大西部時代の鉄道建設に従事。さらにゴールドラッ

シュの名残がある時代にコロラド州の鉱山技師に任命された。この間に、2男、1女（夭折）が生まれている。だが、1888年、コロラド州デンバーで結核によって死去、享年37。

これだけの話ならばモノ作り、土木建設の先駆者として日米の両方から賞賛される人物である。なぜ、人々に知られなかったのか。ひとつは彼がカリーと結婚した時、塩崎領地に妻がいたことを隠していたことである。つまり、重婚になってしまふ。ただ、当時は旧武士が妻妾を抱えていることが多かった。もう少し微妙なものがありそう。これを忠厚の子孫を何回も訪れ、曾孫のベティさんを個人的に招いた久保田怜男氏（51期、小諸市在住）に聞いてみた。「カリーと結婚した時、自分の年齢をカリーに合わせて若く4歳逆サバを読んでいた。カリーが19歳だったので、自分を24歳だと。パスポートを探したのですが見つからない。実年齢がバレるのを恐れて自分で破棄してしまつたらいいですね」

国家を捨てた、いとしい娘とのラブ・ロマンスとなれば、これはフィクションの世界になってしまふ。私は松平忠厚をノンフィクションで書くことをあきらめた。

安心・安全・快適 老後を楽しく美しく！
「サービス付き高齢者向け住宅」

リリィ パワーズ レジデンス

<都内・川崎・横浜> [リリィパワーズレジデンス](#) 検索

お気軽にお問い合わせください

0120-182-082

株式会社 パワーズ アンリミテッド

ソフトウェアの

システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男（66期）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-1 サンフジビル 5F

TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836

URL <http://www.s-giken.com>



同窓生の新刊図書

前号で同窓生が上梓した新刊図書を紹介したところ大変好評だったため、今回も引き続き掲載します。また、紹介したい新刊図書がありましたら、左記のメールアドレスにご連絡ください。(眞山) takao.mayama@nifty.com

(定価は外税)

『周辺の記』

矢島渚男(51期)



紅書房 2000円

雑誌「梟」に連載した俳句の大家である著者の雑記。俳句とともに音楽から趣味の骨董集めまで、誰が読んでも楽しめる本。

『ことわざ漢字のバズル』

馬場雄二(54期)



幻冬舎エデュケーション 1000円

漢字をモチーフに、ことわざや慣用句を視覚化し、パズル形式で楽しく学べる本です。推理力や発見力が知らぬ間に養われます。

『微笑みの小金銅仏』

羽田幸昌(59期)



自費出版

25年間、古美術店で蒐集した五湖十六国から清時代の95体を収めた写真集。5センチ前後の仏像の姿表情の特徴を記述した手作り本。

『子どもたちを放射能から守るために』

菅谷 昭(60期)



亜紀書房 952円

医師の経験と行政のトップとしての知恵を生かし、「放射能を正しく知り、放射能から正しく身を守る」方法を語ります。

『新版チェルノブイリ診療記』

菅谷 昭(60期)



新潮文庫 798円

チェルノブイリ原発事故後ベラルーシに滞在し子どもたちを治療した著者が綴った診療記。福島原発事故を受けて警告を加筆した。

『これから100年放射能と付き合うために』

菅谷 昭(60期)



亜紀書房 952円

その土地に住み続けてよいのか。基準値以内なら食べてよいのか。この本が、皆さんの判断の手がかりになればと願っています。

『認知症の正体』

飯島裕一(64期) 他共著



PHPサイエンスワールド新書 940円

信毎の連載記事をまとめたもの。認知症の原因と症状、治療と介護まで、多くの専門家から得た最新情報を基に平明に詳述。

『政策研究のためのゲームの理論』

竹内俊隆(68期)



ミネルヴァ書房 4000円

国際関係論の専門家で豊富な経験を持つ筆者が「ゲームの理論」を公共政策や国際関係の解決策ツールとすることを提案する。

『ポール・テルヴォーの絵の中の物語』

内山憲一訳(76期)



朝日出版社 1300円

フランス現代作家ビュトルがシュルレアリスムの画家デルヴォーの絵の中に読み取った不思議な夢の物語。散文詩の趣あり。

『応用生物学入門』

平林公男(78期) 他共著



オーム社 2400円

生物学の基礎と、環境、バイオマス・生物資源の利用について、基礎的な内容を網羅し、統括的な考え方を解説した入門書。

『教師のためのケースメソッド教育』

竹鼻ゆかり(79期) 他共編著



少年写真新聞社 2200円

討論による問題解決を目指すケースメソッド教育手法について解説し、いじめ、発達障害など14の具体的事例を取り上げる。

櫻田法律事務所

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)

弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092 千代田区隼町 2-17 金辰ビル 3F

Tel 03-3512-3562・Fax 03-3512-3563

sakura@sakurada-jimusho.com

Outsourcingの知識集団

株式会社 fellow

取締役社長 古畑克巳 (69期)

東京都千代田区神田司町 2-19-4 KS 司町ビル 3F

TEL 03-5283-7225 FAX 03-5283-7226

<http://www.16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

日本第2位 南ア北岳に登る

74歳の元気な5人(54期)

10年来、毎週火曜日に鎌倉散策を続けている神津勝重、小菅健司、杵掛文哉に、北杜市在住で八ヶ岳の森番役をしている萩原統夫と岡谷市でまだ現役を続けているゴルフ好きの林五介が加わって、南アルプスを代表する日本第2位の高峰・北岳(3193m)に挑戦した。

5人は同じ五四期会の仲間で、いずれも74歳。生れて4分の3世紀になる直前の記念登山である。家人から「頼むからテレビ、新聞をにぎわせなさい」と忠告されているので、幹事役の神津兄が天気予報を入念に調べ、予定を1日延期して出発。お陰で3日間とも上天気であった。



北岳山頂に立つ54期の5人

1日目は広河原の登山口から白根御池小屋まで4時間弱の行程。6年前に新築された御池小屋は水が豊富で飲み水は無料、トイレも水洗完備で気持ちのいい施設であった。

2日目、大樺沢二俣から左保コースの雪深に出る。近くに住むこれまた同期生の千村一平兄から借用した高性能のアイゼンを装着、山道と違い直線的に登る。雪渓の上を渡る冷風が快い。案ずるより産むが易し、1時間半の避暑気分となった。北岳バットレス(屏風岩)が眼前に迫る。ロッククライマーの姿も見える。そのまま北岳登頂の選択もあったが、楽しみは最後にと、八本歯のコルの先からトラバースして北岳山荘へ向かう。これがまた、神津兄の好判断で、高山植物の宝庫を十二分に鑑賞。帰宅後、花名を調べるのに苦心する羽目になる花の写真をたくさん撮ることができた。

山荘は昔ながらの山小屋の雰囲気を残すところだったが、夜中に起きて見た降るほどの星の数々や雲間から頭を出した富士山にご来

光が当たる一瞬に息をのんだ。

最終日、完全装備で山荘を5時半に出発、本命・北岳に向かう。寒気に震えながらも、雲間に見える富士山が印象的だった。8月9日午前7時半、北岳山頂に5人がそろって立った。この感動を何と表現するか、誰に伝えんか。文才なき者の哀しさ、筆舌に尽くし難い。頂上には小1時間、心鎮まるまでとどまる。標高の3193mは「さあ、行くぞう!」と勝手に

62期がベトナム旅行

ベトナム地下基地など見学

6回目の今年は紅一点を含む同期生17人、伴侶9人の計26人で11月16日から19日まで、ベトナム・



破壊された米軍戦車の前で(クチの地下基地)

読み解いた。あとは下山あるのみ、大樺沢をひたすら下りた。2日分の登りを1日で下るのである。生半可では着かない。一時はギブアップも覚悟したが、登山口の広河原山荘が見えた時、地獄から極楽へと転じた。

甲府では特急を待つ間の1時間、B級ご当地グルメとして評判の「甲府鳥もつ煮」を肴に、心ゆくまで登頂成功と無事帰還の祝杯を挙げた。杵掛文哉(54期)

は中央郵便局などのフランス統治時代の壮麗な建築物や、旧南ベトナム政府の大統領府だった統一会堂を見学。途中、自転車人力車「シクロ」に15分ほど体験搭乗し、大混雑のバイクの流れの中に身を置く怖さを実感した。

夕方、伝統芸能の水上人形劇を鑑賞した後、3階建ての船でサイゴン川ディナークルーズを満喫。陣取った場所は3階の舞台の真ん前で、「荒城の月」や「北国の春」の演奏では思わず大合唱となり、オーストラリア人などの客を驚かせた。

18日は70mほど西南のミトでメコン川デルタクルーズ。熱帯果樹の木陰を散策した後、両岸に密生するニッパ椰子の葉が見えなほどの狭い支流を、船頭2人が操る4人乗り手漕ぎ木舟でフェリーの渡し場まで下る。一刻も早く戻ろうとする舟が先を争って上ってくる光景に、民族のエネルギーを見た。

ホーチミン市近郊を旅した。台北を経由し、今回の旅の基地となる「ホテルニッコサイゴン」に16日夕に到着。早速、伝統的なベトナム料理に舌鼓を打った。

17日はホーチミン市北西60kmのクチにある総延長2500mといわれるベトナムの地下基地を見学した。一部だけ公開されているトンネルを身をかかめながら十数分歩いただけだが、竹とがらせた罾や米軍の不発弾で作った手製地雷などの陳列物も合わせ、ベトナムの勝利への執念を感じさせられた。

午後、ホーチミン市内観光で

ホーチミン市に戻り、ドンコイ通りやペンタン市場でショッピングした後、最後のディナーはベトナム風フレンチ料理。故郷と青春の一時代を共有する同期生とその伴侶たちの会話は、旅の興奮とアルコールも手伝って大いに弾んだ。

田島善光(62期)



63期同期会に40人以上

上田高校63期も今年には全員高齢者の仲間入りとなりました。

今年春は同期の山浦君が最高裁判事に就任。その祝賀会に引き続き、9月22日に再び毎年恒例の総会を開催し、40人を超える多くの仲間が東京に集合しました。

1次会、2次会に続き、3次会は銀座の高級クラブが当日(土曜日)休みのため、秋葉原駅前の場末のスペースを借り切ったカラオケ大会。なんと20人も集結し、ハートだけは今だに青春時代の真つ盛りでピンピンなお互いに証明しました。

最近物忘れも多く、人の名前もすぐには出ず、また覚えられなくなってきましたが、ともかく健康には留意、来年も元気な再会を誓って、おじいちゃん、おばあちゃんたちは全員家路につきましました。

上田63会会長

西村耕三



79期7組が上田で同級会

今年度は私たち79期が50歳を迎える年にあたります。そこで記念に9月15日、79期7組の同級会を母校そばの旅館で開きました。

当日は47人中30人が参加。会の始めには恩師である小宮山義昭先生に黙祷をささげ、最後の締めくくりは校歌斉唱。再会を誓いながら明日へのエネルギーを得ました。

竹鼻ゆかり(79期)



67期はタイ料理店で同期会

6月24日、67期が関東ミニ同期会を開催。神田駿河台にあるタイ料理店に、懐かしい17人が結集した。この店は、5組の猪坂君のご子息が経営する「グリーンパッタイ」で、最近評判の店。

67期の仲間たちは、還暦を経て今年で61〜62歳になる。人生の転機の真つただ中で、いろいろ大変な時期である。

家庭では、親の介護、自分や家族の病気、結婚しない子供…と悩みが

多い。勤め人は、定年を過ぎて再雇用になり安い給料で働く。年金満額支給までどう食いつなぐか大変である。

そんな時に、高校時代の仲間と懐かしく語り合える喜びはこの上ない。瞬く間に3時間が過ぎ、全員で2次会へ移動して、話を弾ませた。

この会は毎年開くことを決議し、7組の小林猛君に永久幹事をお願いした。名簿を再整理して、声を掛け合つて参加を拡大していく。

今回参加できなかった関東に住む67期の皆さん、来年はぜひ参加してください。

小山正樹(67期)

お客様に夢を 社員に夢を 地域に夢を

別所温泉 一人旅の宿 **上松屋** 心の自由劇場 HEART THEATER

社長 倉沢 章 倉沢 裕 (69期)

信州 / 別所温泉・政府登録国際観光旅館
〒386-1431 長野県上田市別所温泉 1628 番地
TEL.0268-38-2300 FAX.0268-38-8501

身近にあるパチンコ店、パチスロ店の全国組織です

全日本遊技事業協同組合連合会 (全日遊連)

理事長 青松 英和 (65期)

(事務局) 〒162-0846 新宿区市ヶ谷左内町8番地
Tel 03-3260-7371 (代表)
Fax 03-3260-7377
<http://www.zennichiyuren.or.jp/>

吹奏楽団OB会発足へ

会員名簿作成にご協力を！

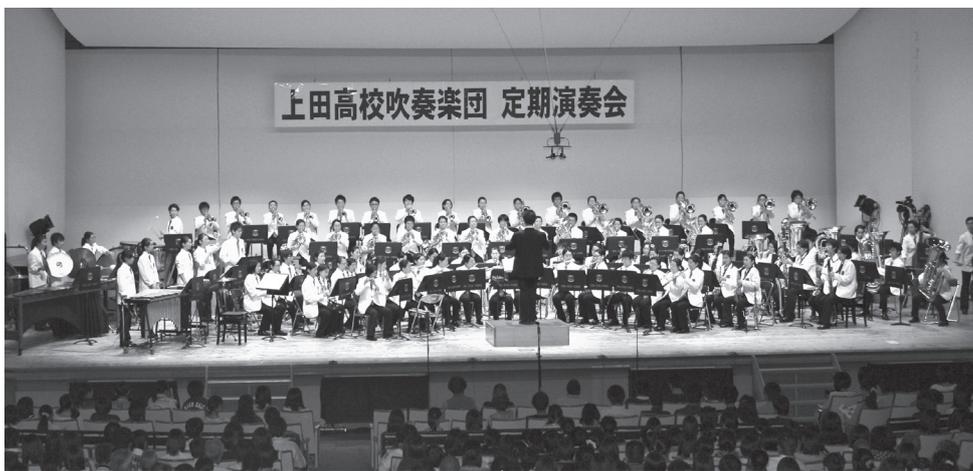
上田高校吹奏楽団は来年、創設60周年を迎える伝統ある楽団ですが、これまで正式なOB会はなく、OB名簿もありませんでした。そこで109、110期の卒業生が

上田高校吹奏楽団は来年、創設60周年を迎える伝統ある楽団です。発起人になり、OB会設立を目指して過去の記録を調べてきました。今後、先輩OBの皆さんとともに準備を重ね、できるだけ早くOB会を正式に立ち上げ、吹奏楽団で青春時代を過ごした仲間の縦のつながりを深めたいと願っています。

発足後の主な活動としては、OBによる総会・演奏会の開催、会員名簿の作成、現役団員のサポートなどを考えています。

既に6月の定期演奏会のパンフレットを通じて設立趣旨をお知らせしたほか、ホームページも開設。7月の関東同窓会総会にも4人が参加し、協力を呼びかけました。

9月には上田高校で第1回の「仮幹事会」を開催。57期から110期までのOB・OGの皆さん25人が参



上田市民会館で開かれた第37回定期演奏会（6月24日）

加し、今後の活動方針について活発な意見交換をしました。

現在、私たちが持っているOB

名簿には情報のない年代も多く、まだまだ不完全です。特に94期

96期と75期以前の情報が不足していますので、皆さまからの情報提供をお待ちしています。

OB会設立についてご意見がございましたら、下記のメールアドレス

レスにお寄せください。

▽メールアドレス：uedahi.

wo.obog@gmail.com

▽HP：http://uedahswobog.

webfc2.com/

▽フェイスブック：グループ「上

田高校吹奏楽団OB・OG会「演奏会（仮）」

▽ツイッター：@uedahiwobog

発起人代表 中山結（109期）

第8回理科系班OB会開催

丸山瑛一氏が「ナノテクうらばなし」

第8回上田高校理科系班OB会が8月26日、銀座の「塩梅」で開かれ、47期から93期の19人が参加した。毎年、8月の最終日曜日に同じ場所で開催しており、参加者

最初に、丸山瑛一氏（51期、工学博士、理化学研究所）による「ナノテクうらばなし」の小講演があった。毎年、港区台場でナノテク展を開催しており、

昨年10周年を記念して同氏が編集責任者となり「ナノテク年表」を作った。

年表作成にあたって、いくつか留意した点のうち1番は、ナノテク分野における日本の貢献を明らかにすること。例えば世界的なナノテクブームの原点になったのはクリントン米大統領が2000年に発表したナノテクノロジー

「国家戦略（NNI）」とされているが、その先鞭は1992年に丸山氏がリーダーとなって通産省がスタートした国家プロジェクトであり、同氏は米国に行つて研究内容を説明したという。

ナノテクとは基盤技術であつて実用化には長い開発期間が必要だが、これこそ今後の日本が目指して周辺各国の容易な追随を許さない戦略に合致した分野といえるという。

丸山氏は「特許権の有効期間が出願から20年間とはけしからん。製品化して20年間ぐらいでないと、開発者がかわいそうだ」と強調し、自らの液晶の特許権が切れた翌年にシャープが製品化したことを明かした。

また、終了後、参加者が「いい話でしたね」と言うのと、「イヤ、入口だけですから」と奥の深さを示した。

【ナノテクとは】ナノメートル（10のマイナス9乗メートル）は原子が数個並んだ長さで、物質が固有の性質を示し始める大きさ。このスケールの材料を観察・操作・制御する技術がナノテクノロジー（略してナノテク）で、20世紀の後半から急速な進歩を遂げた。（ナノテク年表より）

石井則男（64期）



中山道69次を歩く(8)

醒井宿から大津宿まで

第21回は4月21日。柏原駅に集
合して醒井宿へ向かう。1カ月前
は雪、今回は桜が満開、のどかな
歩き旅である。

一里塚跡を二つ過ぎ、鶯が淵の
先が醒井宿。宿場入口の居醒の清
水は、伊吹山の太蛇退治に行き、
正気を失った日本武尊が、この清
水を飲んで覚醒した故事による。
醒井宿を出て、久禮の一里塚を
過ぎ、上り道を歩くと番場宿。宿
場の中ほどの蓮華寺には、この地



大津宿の義仲寺

で自刃した北条仲時以下400余
名の供養墓碑が所狭しと並ぶ。
米原宿の旅館で泊り、翌日、雨
の中、摺針峠を越えて鳥居本宿へ
向かう。峠の急坂の上に、琵琶湖
を見下ろす望湖堂が建つ。あいに
く琵琶湖は雨に煙って見えない。
鳥居本宿は、入口に立つ近江商
人像が迎えてくれた。合羽屋の看
板を掲げた商家、神教丸本舗の豪
壮な建物が並んでいるが、閑散と
した宿場である。

次の高宮宿は多賀大社の門
前町としてにぎわい、高宮上
布の集散地であり、本庄宿に
次ぐ中山道第2の大宿であつ
た。この後、国宝・彦根城を
見学。

第22回は6月2日、愛知川
宿へ向かつて歩く。旧・豊郷
小学校は、立派な白亜の建物。
昭和初期に伊藤忠兵衛商店専
務が米国人建築家に設計させ
寄贈した。伊藤長兵衛創設の
豊郷病院、近江商人屋敷など
は立派に残るが、本陣、脇本
陣は跡かたもない。
五個荘を過ぎたところに、

天秤をかついだ近江商人像が置か
れ、ここまでが「てんびんの里」
といわれる近江商人輩出地とのこ
と。

織田信長が造宮させた奥石神社
(国重文)のすぐ先から武佐宿の
街並みに入る。宿場通りは旧家が
残り、本陣門・屋敷は健在。残念
なのは、ただ一つ残つて営業して
いた旧旅館屋が漏電による火事で
全焼し、泊れなかったこと。

近江八幡で泊り、翌日、源義経
元服の地、鏡神社に参拝。少し歩
くと、平宗盛終焉の地。石仏の前
には枯れた花、供物などが散乱し
ていて哀れ。

旧道左手の丘陵地帯は史跡大岩
山古墳群。野洲川橋を渡るとよう
やく守山宿。本陣などは碑のみで
あるが、宿場らしい街並みは残つ
ている。守山宿の加宿として栄え
た今宿の一里塚まで歩いた。

第23回は10月13日、今宿一里塚
の少し先にある大宝神社からスタ
ート。天気が良いので久しぶりの
中山道歩きはきつい。草津駅前を
通り、草津川(天井川)の下を抜
けると、草津追分道標が見えた。
東海道との合流地である。草津宿
本陣は五街道の本陣の中で最大級
の規模。街道交流館で「中山道踏
破証」を発行してもらい感無量で
あつた。

瀬田駅近くのホテルで泊り、翌
日、大津宿を目指す。瀬田の唐橋
を渡り、大津市内に入る。石山駅
を過ぎたところが、栗津ヶ原。木
曾義仲の重臣、今井兼平の墓に立
ち寄つた。

大津市内は城下町のため、道が
かぎ形に何度も曲がる。膳所城跡
に寄り、義仲寺へ。木曾義仲墓所、
目指す。清水計枝(64期)

51年前の入学書類 同窓会入会金納入依頼など

身辺整理をしようと思い、古いダンボール箱を開
けると2通の封筒が出てきました。差出人は長野県
上田高等学校と長野県上田高等学校生徒会購買部。
一つは保護者宛ての入学許可予定者通知と生徒会入
会金、PTA施設拡充費、同窓会入会金の納入依頼。
もう一つは新人生宛ての洋服、コート、学生帽子、
革靴、腕時計などの購入勧誘でした(かいづや、多
喜屋洋品店、矢島時計眼鏡店、日昇堂製帽店などの
商店名)。しばし50年前にタイム・スリップしてしま
い、整理は一向に進みませんでした。
写真は書類の一部で「教科書の定価表」(高等学校
国語163円、高校社会140円、高等学校数学1
代数98円、英語HIGH ROAD to ER.48円など)
小山平六(62期)

昭和36年度 上田高校教科書定価表

(全日制 第一学年用)

発行期	書名	冊数	定価
品川	臨海学校国語	1	163
	歴史 古典	1	48
実教	高校 英文	1	53
◎	高校 社会	改	140
東書	高等学校数学 I	代数	98
		幾何	108
三益	生物	四訂	175
二葉	臨海学校保健体育	保健	70
		体育	35
◎	教養 高級音楽	全	138
日文	高級美術		264
	デザイン		99
英文	書道新編	1~3 改訂版	115
三益	HIGHROAD to ER	1	48
◎	開拓 NEW STANDARD E	1	53
◎	中央社 THE UNION R	1	50
教出	How To USE BETTER E	1	45

社 ◎印は年度版採用

教科書販売店
株式会社 西澤書店
上田市橋本 TEL.24



放送班が全国優勝

NHK杯全国放送コンテスト



で、夏と冬に行われる2回の大会に向けて毎日活動しています。

今年の夏の大会、7月のNHK杯全国高校放送コンテストで、私たちは上田高校放送班初となる全国優勝を果たしました。これは全国400校の頂点にあたります。

こんにちは。上田高校放送班です。いつも応援してくださり、ありがとうございます。

さて、私たちは大きく分けて三つの活動をしています。

一つ目は日々の定時放送、二つ目は上田高校のホームページに掲載する動画ニュースの制作、そして三つ目がコンテストに向けての番組制作です。番組制作は放送班の活動の中心となっているもの

いいのかも、どんどん分からなくなりまして。しかし、少しでも彼のことを理解して番組にしたい、伝えたい。この思いを支えに、もがきながら編集を続けました。

6月に県大会が行われ、いったん番組として完成させ、全国大会への切符を手に入れました。しかし、彼のことを描き切れていないと思いい、作り直すことにしました。締切まで2週間という厳しい日程でしたが、先生方の協力、仲間の結束で完成させることができました。

この番組の制作は「生きる意味はなに？」と自分自身に問い続けた時間でした。答えは出ず、「人の痛みは背負えない」と自分の無力さを感じる日々でした。いまだに心が痛みます。それでも、自分の知らない世界に出会えたこと、この『生きて』を作り切れたこと、この制作すべてが私たちの大きな財産になりました。

番組の制作は私たちだけではできません。取材を受けてくださる方々、保護者の応援、先生方の休日返上の協力、地域の方々の応援など、多くの協力があつて初めて完成できます。感謝の気持ちを胸に、上田高校放送班はこれからも番組を作っていきます。

放送班 矢澤達也

1年生

ホテルにこもり学習合宿

国・数・英を徹底自習

10月9日から11日まで、松代口イヤルホテルで2泊3日の学習合宿を実施し、1年生357人が参加しました。今年も副題に「自楽習マラソン」と付記し、学習する教科を国・数・英の3教科に絞り、3日間、ただひたすら自学習に専念することを強調し、同時に楽しく学習に取り組めるよう計画を立てました。

を通して、4月のあの希望に満ちた意欲を再度復活させるという点に置きました。

目的を達成するため、合宿初日に講師を招き、「大学受験に向けての心構え」と題して講演をしていただき、生徒の目的意識を具体化させる仕掛けをし、3日間のハードな自学習に取り組ませました。

その結果、「あまり家では勉強することがなかったので、いい刺激になった。これからは家でもしっかりと勉強したい」「ひたすら自学習の3日間できつかったけど、すごく楽しくできた」「自分の限界を超えられたけど、それは自分の力だけじゃなく、眠りそうになったら起こしてくれた仲間のおかげでもあった」など、全員からやつてよかったという意見を聞くことができました。

合宿は終わったけれど、学習は終わってはいません。合宿で習得した学ぶ姿勢を、今後の高校生活に即役立て、学習面の充実を図ることを強く願っています。

113期学習合宿担当 竹内光礼





2年生

基地問題を考える

3泊4日の沖縄修学旅行

2学年は10月9日から沖縄に修学旅行に行った。飛行機に初めて乗る生徒も多いので、羽田空港を離陸した際には歓声が上がった。那覇空港に着き、そのままホテルへ直行。元教員で詩人でもある高良勉先生の講演会を予定していたが、体調を崩されたため、ラジオ沖縄を退職された源啓美先生の講演会となった。

源先生は、67年間、日本の基地の大部分を押しつけられ、苦しめられてきた沖縄の現状を歴史を踏まえて説明。尖閣諸島問題で基地強化が進むのではないかと懸念や、オスプレイの配備で多くの



県民が抗議集会に参加し、ゲートを封鎖して抵抗しても変えられない現実を聞くにつれ、私たち1人が自分の問題としてとらえなければいけないと感じた。

また、沖縄戦で互いに愛する人を殺さなければならぬ悲惨な状況に追い込まれた様子や、いまだに不発弾処理や遺骨収集が続けられていることを知り、沖縄の人にとっては、まだ戦争が終わっていないことを実感した。

講演会の後、高嶺久枝先生らによる琉球舞踊を鑑賞。解説を聞きながら、美しい衣装やいろいろな種類の琉球舞踊を見ることができ、最後には何人かの生徒がステージに上り、一緒に踊った。

2日目は「平和学習」。平和の礎やひめゆり平和祈念資料館を見学し、元ひめゆり学徒隊にいた宮城喜久子先生の話聞いた。かなり高齢で体調が悪いにもかかわらず、高校生のために辛い体験をお話いただいたのに、一部に寝ていた生徒がいたのは、とても残念だった。「10代のあなたたちに10代で死んでいった友達のことを

知ってほしい。平和だからこそ生きられる。努力すれば何でもなれる幸せを感じ、真実をつかむ正しい目を養ってほしい」という言葉に胸が打たれた。さらに、糸数壕を見学し、真つ暗の中で過ごした当時の人々を思い、生徒たちも強い印象を受けたようだ。

その後、民泊のクラスは伊江島へ渡り、残りのクラス是那覇市国際通りの見学を経てホテルへ。民泊した生徒は受け入れ家庭の人たちとふれあい、中には琉球衣装を着せてもらったり、一緒に沖縄料理を作ったりと、めったにできない体験をした者も。次の日の午後、フェリーでのお別れでは、涙を流している生徒もいた。

3日目、民泊以外のクラスの生徒たちは、ちゅら水族館の見学後、それぞれコース別に分かれ、マリンスポーツを楽しんだ。台風の影響で青の洞窟には行けなかったものの、他の場所でシュノーケリングをし、水中で見る美しい魚に感動していた。

最終日、佐喜真美術館や百里城を見学し帰路に就いた。何ごともなく、全員元気に戻ってこれたことにほっとし、生徒にとって有意義な修学旅行であってほしいと願っている。

2年担任 土屋章子

3年生

近づくセンター試験

満席の学習室に緊張感

10月1日、進路指導主事の小岩井秀樹先生が、生徒たちの志願票を「大安」というお日柄を選んで発送してくださいました。今年度もほぼ例年並みに生徒358人中356人(99・4%)が出願しました。

10月も終盤に入った現在、HR教室後ろの黒板にはセンター試験までのカウントダウンが表示されています(無用な緊張感を与えるとし、あえて書かない教室もあります)。放課後の学習室もあふれんばかりの生徒で埋まり、席取り合戦の様相を呈しています。

9月、10月は校内の定期考査・



推薦入試を控え面接指導を受ける生徒

総試に加えて校外模試などで生徒たちも土日なしの状況のため、中には少々体調を崩す生徒も現れますが、先輩方もそこを乗り切ってセンター試験の2日間を乗り越えることができただと励ましている次第です。生徒たちもそのへんは理解し、授業中に時々襲われる睡魔を必死で退治しているようです。

学習を深めると突き当たる新たな壁に不安を抱きながらも、確実に実力をつけてきている現在ではないでしょうか。AO入試や指定校推薦・公募制推薦にも若干名が出願していますが、その生徒たちも一般入試に備えての勉強は怠らずにやっています。

これもやはり毎年のことでしょうが、試験に気を取られて、清掃など高校生活の基本をないがしろにしないよう指導し、生徒たちが強運を呼び込めるようにしたいと思います。

来春から多数の生徒が新会員としてお世話になりますが、よろしくお願ひ申し上げます。

学年主任 南澤茂徳



上田高校 NOW

「もしマッーもしも上高生が点数よりも大切な何かを見つけたら」というテーマの下、今年も松尾祭が7月上旬に開催されました。初日は開祭式、合唱コンクール、前夜祭、2日目は講演会、一般公開、ダンス、3日目は一般公開、後夜祭・打ち上げ花火、最終日は校内祭、閉祭式という流れで、真夏の4日間を生徒たちは全力で駆け抜けました。松尾祭といえど合唱コンクールとアンデパンダンですが、今年も各クラスで試行錯誤を繰り返しながら、力のこもった作品を仕上げた文

生徒会顧問 菊池文明



福島産野菜の直売所をオープン

福島産野菜を直売

7月上旬に松尾祭開催

化祭を盛り上げました。さて、今年の松尾祭は新しい試みに数多く挑戦しました。企画書審議の段階で取りやめになった企画もありますが、生徒たちは粘り強く一つ一つ形にしていきました。その中で、風評被害に遭っている福島県産野菜の直売所をオープンしようという企画がありました。この企画は募金のような顔の見えない支援ではなく、被災された福島の人と「直接、触れ合う中で支援したい」という生徒たちの思いから生まれた企画でした。福島産の野菜が売れるのか、運搬その他の経費はどうするのかなど難問山積でしたが、最後には現地福島まで足を運んで解決していくその姿勢には生徒たちの熱い思いがありました。

初めての企画に不安を抱えながら迎えた販売当日は、メディアに取り上げられたこともあり開店前から行列ができ、用意した野菜は即完売でした。日帰りで福島から販売に来た方は「みんなの行動力に明るい未来を感じ、元気をもらいました」と話していました。生徒たちはこうした新しい試みや松尾祭の活動を通して「点数より大切な何か」を見つけたのかもしれません。

松尾祭が終わって3カ月がたち、3年生は受験に向かって猛勉強中ですが、松尾祭で培った「試百難」の精神で夢をしっかりと実現してほしいと願っています。

池田義雄氏(51期)が講演

タニタ式で健康管理を

松尾倶楽部の第146回例会が9月19日、千代田区の連合会館で開かれ、元東京慈恵会医科大学教授の池田義雄氏(51期)が「タニタ式健康管理の秘訣」と題して講演した。



池田氏は生活習慣病の権威。慈恵医大教授を退任後、「タニタ」体重科学研究所の所長を務めており、最近話題の「タニタ食堂」の生みの親。

講演では、生活習慣病やメタボリックシンドロームについて解説し、メタボの予防として「一無・二少・三多」を提唱していることを紹介した。

一無は禁煙、二少は少食と少酒、そして三多は多動(運動)、多休(十分な眠り)、多接(人に接する)のこと。この標語は、90歳まで生きた明治の元勲、西園寺公望の健康法「一少・三多」(少食、多動、多休、多接)をヒントにして作ったという。

2012年度のクラブ成績 全国大会出場状況

【運動班】

- ☆ 2012年度全国高等学校総合体育大会(北信越かがやき総体)
 - 陸上班 女子800m出場 山崎菜月(北信越大会第2位)
 - 剣道班 女子個人出場 三井楓(長野県大会第2位、北信越大会16強)
- ☆ 2012年度全国高等学校定時制通信制体育大会
 - 定時制 バドミントン学校対抗女子団体出場(県総体優勝)
 - 卓球女子シングルス出場 市崎世奈(県総体3位)

【文化班】

- ☆ 全国高等学校ダンスドリル選手権大会全国大会2012
 - ダンス班 HIPHOP 女子 Medium 編成第3位(甲信越大会優勝)
- ☆ 第59回NHK杯全国高校放送コンテスト
 - 放送班 「生きて」 ラジオドキュメント部門優勝
 - ※ NHK杯長野県大会では4部門で全国大会出場権獲得
 - ・アナウンス部門 児玉桃子(優秀賞・NHK長野賞) 北澤圭(優秀賞)
 - ・朗読部門 矢沢達也(優秀賞・NHK長野賞)
 - ・研究発表部門(優秀賞)
 - ・ラジオドキュメント部門(優良賞)
- ☆ 第36回全国高等学校総合文化祭 富山大会
 - 放送班 オーディオピクチャー部門出場、アナウンス部門出場 北澤圭
 - 室内楽班 長野県高等学校選抜オーケストラ選抜メンバーとして
 - 書道班 作品選出 斉藤侑惟 美術班 作品選出 山崎玲香
 - 新聞班 新聞部会出場



日本アカデミー賞映画「スウィングガールズ」の感動をそのまま

JAZZ CANDY from 蓼科高校ジャズクラブ

スプリング・コンサート 2013年3月24日(日) 14時 上田市民会館

制作・指揮 斎藤研郎(72期) プロデュース 井出孝光(61期)

問い合わせ先 <http://www.jazz-candy.com/>

新たな教育システムの創造

松実学園グループ

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

医科系大学特進コース・松実メディカル高等予備校

医学部進学・難関大学進学の為の特別コース

松実国際高等学園

世界のリーダーを育成する国際高等学校

(社) ISM 教育総合研究所

理事長・学園長 松井 石根(60期)

まつみこうとうがくえん

松実高等学園

本校 埼玉県春日部市中央1-55-15

<http://www.matsumi-gakuen.net>

証券アナリスト基礎講座

申込受付中

個人賛助会員

投資に興味がある方に最適な

学習しやすい初級レベル通信講座!

—コンパクトなテキスト(2分冊)による自学自習を補完する

演習問題も充実— 受講料: 15,000円

お問い合わせ: 03-3666-1511(kiso@saa.or.jp)

会員の特典が多数あります!

証券アナリストジャーナルの毎月送付、会社説明会(無料)・講演会・セミナー(会員割引価格)の参加など。

年会費: 18,000円以上(満65歳以上の方は、12,000円)

お問い合わせ: 03-3666-1411(member@saa.or.jp)



公益社団法人 日本証券アナリスト協会 (59期 萩原清人)

東所沢の不動産仲介専門店



株式会社 アルファ

代表取締役 尾和正暉 (61期)

〒359-0023

埼玉県所沢市東所沢和田 2-3-1

TEL 04-2945-2220

FAX 04-2945-2225

アルファでは家をお売りする前に
安心をお売りしています。

JR武蔵野線 東所沢駅 徒歩3分

E-mail info@alphar2220.co.jp

HP <http://www.alphar2220.co.jp>

アクト法律事務所

〒107-0052

東京都港区赤坂3丁目9番18号

赤坂見附 KITAYAMA ビル3階

TEL: 03-5570-5671 (代表)

FAX: 03-5570-5674

【最寄りの交通機関】

地下鉄銀座線・丸の内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士(所長) 岩井 重一 (62期)

弁護士 安田 隆彦

弁護士 平澤 慎一

弁護士 波戸岡 光太

弁護士 黒澤 真志

佐伯謹吾氏(63期)が優勝

関東同窓会、ゴルフコンペへ

風は冷たいが秋晴れの10月30日(火)、千葉カントリークラブ川間コース(野田市)で関東同窓会主催のゴルフコンペが開催された。2002年に始まった同コンペも10年続き、18回目を数える。参加した54期から69期までの精鋭40人が、東、西、南コース3か所から同時スタートした。

個人戦の成績は、佐伯謹吾さん(63期)がグロス78、ネット60の何と12アンダーという快スコアで優勝。78はベストグロスである。準優勝は高梨奉男さん(62期)



がグロス82、ネット65、3位には河西秀夫さん(54期)がグロス82、ネット68といずれもアンダーパーで続いた。ブービー賞は初参加の本郷達郎さん(59期)。

4人以上の参加期7チームで争われた期別対抗戦は、63期が5人全員好成績を収め、2位の62期を大きく引き離して優勝する。

プレー後のパーティーでは、同窓会からの優勝カップ、千葉CCからの賞品を手にした佐伯さん、初参加の本郷さん、山浦直次郎さん(61期)、紅一点武重玲子さん(69期)、米オレゴン州在住で一時期(期中)のスピーチがあった。席上、ゴルフ同好会幹事の上原(65期)から、「当コンペは来年秋で20回目を迎える。それを機に幹事を若い世代に交代したい。69期の皆さんが引き受けてくれたので、再来年春の大会からバトンタッチする」ことが報告された。

なお、次回第19回大会は、来年4月2日(火)、同じ千葉CC川間コースで開催予定。ゴルフ同好会幹事 上原昇(65期)

62期コンペは上田勢の圧勝

11月8日(木)、埼玉県のかたま神川カントリークラブで62期のゴルフ会が開催された。数えて43回目。年2回の開催だが、ここ10年は関東だけでなく信州在住者と合同で開催している。今回の参加者は27人と少なかったが、スコアはともかく旧友と会って「元気をもらおう」と集まってくる。頭髪や体形は変わっても、「元気?」「お久しぶり」で始まる旧友との会話は歳月を越えて和やかなもの。参加できない友人や恩師の消息を交換したり、手術の体験を話したりで時間が経過する。

優勝は上田からの柄沢亮君、準優勝・上原剛君、3位・鈴木康文君と、上田(真田)勢に完敗。4位田島善光君以下9位までは関東軍で占めたが、歴史は繰り返すのだろうか。今や平成の時代、次は関東軍の大勝利となればと思っている。次回は6月4日(火)に上田近郊で「元気に再会しよう」と約し、散会した。

高梨奉男(62期)

運営基金拠出者

期	氏名	金額
43	田玉重陽	10,000
67	原田健治	10,000

寄付者 / 寄付グループ

(4月1日~9月30日)

期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額
44-4	高橋昭平	2000	62	諸岡健児	2000	67	水島良子	2000	80	宮原浩貴	2000
44-4	滝沢源平	2000	62	柳澤敏雄	5000	68	石黒 稔	4000	80	山崎まゆみ	2000
46	佐藤 信	2000	62	依田欣五郎	10000	68	尾台孝男	2000	80	山中英俊	2000
47	金子 宏	10000	63	川村恭司	2000	68	金子元昭	6000	81	毛利元晶	3000
48	入山一徳	2000	63	佐伯謹吾	10000	69	蟹江由美子	2000	83	五十嵐恵子	2000
48	浦田光雄	10000	63	藤川 昇	2000	70	高橋淳子	2000	83	竹内延彦	2000
48	峯村千徳	2000	63	山浦成子	2000	70	中村 冠	2000	85	梅村美紀	2000
49	小澤泰衛	30000	65	上原 昇	2000	70	宮入伸一	2000	85	佐藤敏男	2000
49	堀内寅次	5000	65	折井正博	2000	70	矢澤清子	2000	85	高野展幸	2000
51	中島 宏	4000	65	菊島範一	4000	70	柳沢順三	2000	85	竹鼻 淳	2000
51	和田智晴	3000	65	沓掛文夫	4000	70	渡辺 淳	2000	85	馬場留美子	2000
54	馬場武彦	1000	65	小宮山 豊	2000	71	長谷川敏雄	1000	85	疋田康二	4000
55	宮島光男	4000	65	小宮山雅子	2000	75	小泉行徳	1000	88	三井正樹	2000
58	山邊光一	2000	65	瀧沢政規	2000	76	小島 玲	2000	95	依田大和	2000
59	小林朋晃	1000	65	武澤美佐子	2000	78	渡邊 博	4000	97	津島葉子	2000
60	白井 透	5000	65	塚田道明	2000	79	戸田由香	2000	98	高畑健太郎	2000
60	鷹野芳機	5000	65	原田義則	2000	79	仲村久美	1000	98	竹花 元	2000
60	日置勇二	50000	65	丸山暢久	2000	80	會田信子	4000	98	長谷川直紀	10000
60	福嶋 宣	4000	65	宮川恵三	2000	80	石黒久仁子	2000	99	矢島好太郎	1000
61	笠井徳爾	2000	65	宮原 豊	2000	80	伊藤英明	2000		役員有志	5710
61	滝澤 進	20000	65	山浦信幸	2000	80	新保有佐	2000			
62	田島善光	1000	65	山浦陽士	2000	80	花岡 健	2000			
62	松井由美	4000	67	小山正樹	1000	80	松尾淳子	2000		合計	345710



会員短信

第51回総会への 出欠はがきより

35期 石井 暢

超高齢につき失礼します。

36期 小川 太郎

老齢となりました。上田での
毎月25日の会も4人だけになり
ました。寂しい限りです。

37期 岡 清助

小生の在校当時の追憶的な
り、健在なり。

42期 栗田 裕夫

年も老いると、国の隆昌と故
郷の発展を一層願うものです。

43期 佐々木 三夫

年の割には元気で、地域の諸
活動で若い人たちの交流に努
めています。43期のクラス会は
休止中です。

43期 土屋 啓

昨年、大腿骨を折り入院治療
しましたが、歩行が回復せず、
遠出不能です。生活は老々介護
で何とかしています。

44-4期 滝沢 源平

栗山正雄様、白井透様のご好
意により、上田高校および故郷
のニュースをパソコン配信して
いただき、ありがたく拝読して
おります。

44-4期 中村 強

宮原さんとは第4次南極観測
隊員として一緒にさせていただきました。
きました。

48期 田原 敬

今春インド・カルカッタとネ
パールを旅し、宮原魏氏とカト
マンズでお会いしようと思っ
たのですが、この時は不在で
した。

48期 中澤 利雄

健康面の支障がなく日常生活
を送れる期間の健康寿命(男70
歳)をクリアし81歳余の今日、
毎日元気で楽しく感謝しなが
ら米寿を目指しています。

49期 小澤 泰衛

総会で宮原氏が講演されると
のことですが、私が地元のロー
タリークラブの会長を務めてい
た当時(10年前)、識字率向上
支援活動として「ネパールに小
学校を建設し寄贈するプログラ
ム」を実施する際に、同氏に様々
なご指導ご助言を賜りました。

49期 堀内 寅次

昨年から体調が悪く、病院に
入退院を繰り返している状態で

す。母校への思いは、6年間学
んだ私たちは、特に強いものが
あります。

51期 内久根 孝一

宮原さんの青木村の旅館で上
田高校OBの基会をしたことが
ありました。

51期 黒川 嘉郎

6月23日の全日本マスターズ
ボートに75歳以上のエイトでは
メンバーが集まらず、難しいフ
ォアで出漕艇、幸いメダルを獲
得できた。

51期 中島 宏

昨年に続き、今年も多くの同
期生、同窓生に再会できること
を楽しみにしています。

51期 保坂 利勝

文化祭の準備で、家内と公民
館へ行き、その玄関先で乗用車
に突っ込まれ、重軽傷を負いま
した。幸い立ち直ることができ、
日々感謝しております。

51期 堀内 弘栄

1998年にJAC主催のネ
パール植林とマナスル展望トレ
ッキングで、カトマンズの宮原
氏経営のホテルに泊まったこ
と、また、2001年には上田
市との共催の青木村里山を歩く
会で、青木村田沢温泉富士屋ホ
テルを起点に青木峠から保福寺
峠への縦走や子檀嶺岳登山で、

宮原魏リーダーの跡を追ったこ
とを思い起こし、懐かしいです。

51期 丸山 瑛一

上田の実家で赤松小三郎記念
館と平八郎茶屋を立ち上げまし
た。計画途中で火災に遭いまし
たが、51期を中心とする同窓会
の皆さんに協力や援助をいただ
いて、同窓会のありがたさを痛
感しました。

51期 八木 浩輔

昨年、浦和大学学長の任期4
年を満了して退職、50年間の研
究・教育の大学勤めに区切をつ
けました。現在は大学院でのセ
ミナー、つくば市の教養講座、
製菓会社つくば研究所での実験
を行いつつ、科学を楽しんでお
ります。

53期 飯島 秀也

東京在住の上田3中OB同期
を主に男2人、女5人で7年前
に歩き継いで翌年、3中学校門に
到達。続いて軽井沢追分から春
秋2回の1泊2日または2泊3
日の旅で中山道を歩き、4月2
日に京の三条大橋満願となりま
した。

53期 掛川 一彦

腰部脊柱管狭窄症きょうせきくわんさくさくの手術加
療のため入院中です。

53期 高木 快雄

卒業後57年たちますが、いま

訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

33期 加藤鐵司	2009年	46期 緑川邦夫	2006年9月6日	54期 山田信明	2011年7月
34期 松井正直	2012年3月12日	46期 北上 博	2009年12月30日	55期 滝澤 譲	2011年12月15日
35期 城田 賢	2011年10月6日	46期 三井 周	2010年3月8日	55期 橋詰孝子	2012年10月17日
37期 林孫一郎	2003年6月17日	46期 手塚 亨	2010年4月6日	56期 翠川和彦	2011年1月20日
40期 柳沢晴夫	2005年ごろ	46期 横田亮一	2010年5月21日	57期 渡辺浩通	2012年10月2日
44-5期 小林重夫	2003年	49期 花岡 潔	2012年4月11日	67期 村松邦子	2012年8月24日
44-4期 山本太一	2012年2月13日	51期 柳沢 暁	2010年	68期 尾島照夫	2011年4月
46期 若林 進	2006年8月	54期 宮崎親作	2012年2月14日	68期 前田幹雄	2011年12月9日



だに母校のことが気になります。

53期 塚田 靖

時々コンクールの審査や講習会などマイペースでやっています。

今年、東大の入学生が1人もいないのは少しさみしいですね！

53期 服部聡一郎

6月22-23日、8組(栗本先生)のクラス会で布引観音や小諸辺りへ行きます。

53期 増田陽雄

宮原さんは私の村の先輩で、講演を伺いたったのですが、所用があり、残念ですが欠席します。

53期 柳澤浩二

53期8組15人が6月22日、小諸菱野温泉に集まりました。鯉こいの洗い、信州サーモンの刺身を楽しみ、美酒に酔いました。翌日は1年生の時に遠足で登った布引観音に再度参拝しました。険しい参道に息が切れましたが、途中で野生のカモシカ1頭に出会うなど、珍しい体験をしました。在京者(11人)の集りも年1回あります。

54期 沓掛文哉

今年、誕生日が来て、お上のいう「後期高齢者」となる。他人様から高齢者、それも後期だなどと呼ばれたくないと怒り心頭に達していたら、同輩が「こうきは後期にあらず、高貴なり」と教えてくれた。それ以来もつばら「高貴高

齢者」と思い、多用している。

54期 後藤人三

6月末で全くフリーになりました。これから、碁とゴルフと旅行です。

54期 馬場武彦

栗山さん、長年幹事長をありがとうございました。新幹事長の丸山さんも会員に親しまれるよう、よろしくご配慮をお願いします。

55期 土屋 務

ある演歌歌手の後援会を発足させ、理事に就任しました。忙しい毎日です。広報担当理事ですので、公式ホームページを作ります。

55期 成澤祐介

過般は同窓会のCDありがとう。腰を悪くしており、総会は失礼します。

55期 宮島光男

55期の仲間は毎月第3水曜日夜、新宿駅に近い(東口、中央口から徒歩5分)居酒屋「千草」で集い飲んでいきます。常連は10人ほど、妙齢の女性ゲスト(かつぱれ師匠、ジャズ歌手など)も加わって楽しいおしゃべりです。

56期 小平節夫

中高年向けに、パソコン教室(脳トレ)2クラス、音楽体操教室(心身トレ)4クラスの講師として、教材作成、指導法考案などに生きがいを見いだしています。他に健

康系、福祉系のNPO・任意団体など4つの役員をしながら、ボランティア活動をしています。

56期 濱村邦夫

会報の紙面が充実していると感じました。新執行部は5本の柱の

57期 松木 功

宮原先輩の話聞きたい。小生60歳代に7回、ヒマラヤをトレッキングし、2度ホテルエレレストビューに行きました。

58期 小山捷二

古希を迎える年になってしまいました。体に悪いことはしてないつもりですが、年齢には勝てません。母校も女性が男性を上回ったとか、驚きです。

58期 清水博一

一日一生、日々ベストを！を motto に毎日過ごしています。

58期 依田康徳

宮原氏の講演に興味があり聴講したかったのですが、海外旅行が決まっており、出席できません。

58期 山邊光一

栗山さん、幹事長本当にご苦労さまでした。財政再建も果たし、ご立派な幹事長でした。



祝！会報 85号

- ・関東同窓会で10年の歴史ある同好会
- ・毎年、春と秋にゴルフコンペ開催
- ・初参加、初心者同窓生、大歓迎
- ・今回は来年4月2日(火)、千葉CC川間コース

ゴルフ同好会幹事 上原昇 (65期)

TEL 048-641-7749 n-uehara0816@spa.nifty.com

六五会より 祝！会報 85号

- ◆六五会は65期有志よりなる親睦会です
 - ◆毎月21日19時から、上田市内の飲食店にて開催
- 【メンバー】青松英和、上野政博、小山田秀士、小出俊、興水草比古、小山壽一、島田甲子雄、中村幸男、羽田義久、丸山幸雄、安川莊太郎、矢島好高、山辺良樹、柳澤英明、吉田一雄、若林健

代表幹事：布施修一郎 TEL 090-1663-6363

はりとお灸で健康に！

しんきゅういん
ファイン鍼灸院

院長 丸山智子(72期)

薬剤師、鍼灸師、マッサージ師

★同窓会員は初診料免除

東京都杉並区阿佐谷南 1-35-21 2F

Tel 03-5378-4107 (予約優先) http://www.fine-therapy.com



59期 萩原清人

スペインへの出張があり、残念ながら出席できません。

60期 戸島忠彦

同じ市内に転居しました。旧居で約20年。狭い新居。「断捨離の勧め」が喧伝けんでんされていますが、いざとなると…。結局、どこかの国の「決められない政治」よろしく、スクラップ、書籍、本、思い出の写真などを実家(旧浦里村)へ託送、選択・決断を先送りしました。

60期 塚田 晃

30数年前、カトマンズに出張した際には宮原さんのホテルを訪れる時間が取れず、残念でした。



60期 山岸文明

定年退職後、はや6年。趣味の陶芸と俳句に打ち込む日々です。伊豆の国市生涯学習俳句塾の講師として4年目の現在までに、生徒が25人ほどになりました。

62期 佐藤澄江

同期の栗山様、3年間事務局の仕事が続けていただき、ありがとうございました。65歳で仕事は終わり、サンデー毎日の生活を送っております。地域の公民館のコーラスや「山楽会」の活動に参加し、楽しく元気に過ごしております。

62期 松井由美

松尾倶楽部で事務の手伝いをしています。60期以後の参加者が少ないのですが、とても良い会なので、ぜひ興味を持って一度顔を出してください。絆の社会ですから。

64期 北原巖男

2012年は東ティモール独立回復10年、日中国交正常化40年、そして沖縄本土復帰40年。前へ！with心の絆。

64期 清水計枝

ヒマラヤのドンキホーテ・宮原さんのお話を聴くのを楽しみに参加します。一昨年、ネパール観光に行き、ヒマラヤの山脈はスケールが違うと感じました。

64期 山本淳一

総会の講演会が、ネパールで大

変お世話になった宮原氏というところで、夫婦で参加します。(山本氏の奥様は75期の山本享子さん)

65期 上原昇

第51回総会は実行委員長期の65期が結束力をもって盛り上げます。

65期 澤崎健一

総会。パンフレットの表紙デザインを担当している澤崎です。リクエストデータの手配など、いろいろ配慮いただき、ありがとうございます。総会出席は初となりますが、実行委員として微力ながらお手伝いさせていただきます。

65期 塚田道明

体にガタがきていますが、旅三昧の毎日です。

65期 西澤省悟

6月26日の株主総会をもって、日本フィルター工業(株)の社長を退任し、顧問になる予定です。

65期 長谷川英人

本年3月から5月初めまで、すい臓がんのため入院。現在、抗がん剤投与を受けるため通院治療中です。副作用などで体調悪く、また長期入院による筋力低下のリハビリをしている最中のため、欠席とさせていただきます。

65期 真山亨

築地で診療所をやっております。しばらく都心で町医者が続け

てゆく予定です。

65期 宮崎光明

2011年3月に会社退職後、長野県の実家で農業をする時間が多くなりました。全国の大学教授を対象に、セカンドライフ・セミナーの講師を担当しています。

65期 柳沢賢次

古事記・日本書紀は無文学時代の伝達(表示)方法によって、重要なことは述べられています。古代日本が変わることを『信濃』の拙文で確かめてください。

66期 大久保健仁

現在、大阪に単身赴任中で、今回は出席できません。

66期 柳澤公雄

1月19日の新年会に初めて参加しました。黒坂君のコカリナ演奏やアンサンブルステラの合唱など楽しく鑑賞。同期の人たちの近況などを知ることができました。当夜、会場が暑くてビックリ、われわれの熱気のせいなのか、施設の不備のせいだったのか?

68期 牧野平二

3月に群馬県庁を定年退職しました。

71期 小林英夫

71期3組の東京同窓会を1月に開催、同級女子5人全員を含め12人が出席。次回は本年12月に開催予定です。

79期 荻原 貴

79期の皆さまへ。第50回総会以来、2次会で同期会を行うなど、少しずつ交流を図っています。ぜひ一度ご参加ください。

80期 原 久美

初めて参加いたします。80期5組のクラス幹事をさせていたたくことになりました。

83期 尾添静子

子供の習いごとがあり、欠席いたします。早く子育てを終え、皆さまにごあいさつできる日を楽しみにしております。

83期 竹内延彦

2011年4月に長野県庁に新設された「次世代サポート課」で、子ども、若者支援の幅広い施策に取り組んでおります。

103期 金井咲保里

同期より少々遅れましたが、社会人1年目、医師としての一歩をスタートしました。諸先輩方、後輩たちに恥じることをないように精進してまいります。

103期 小宮山純一

卒業後7年間の東京生活を終え、今春より実家へ帰りました。

106期 土屋悠馬

今春大学を卒業し、長野に戻り就職しました。

編集後記

最近、沖縄に行く機会が増えている。長女が沖縄の男性と結婚したことがきっかけで、基地問題で揺れる沖縄の実態をもっと知りたいと思うようになったからだ。9月末、大型台風17号が沖縄を直撃した翌日に那覇に入った。市内のあちこちには、強風でなぎ倒された木々がまだ放置されていた。▼次の日、「米軍岩国基地のオスプレイが普天間基地に移動し始めた」とのニュースを聞き、急いで基地近くの嘉数高台公園へ。丘の上からは普天間飛行場が一望に見渡せ、既にテレビ局のカメラマンらが多数詰めかけていた。▼しばらくすると、巨大な鳥のような形をしたオスプレイが次々と現れ、轟音を響かせながら垂直に滑走路に着陸。初めて肉眼で見る「怪鳥」の姿に、少し興奮しながら何度もシャッターを切った。▼在日米軍基地の約7割が沖縄に集中し、沖縄本島の約5分の1は米軍基地。車で島を一周すると、その実情が手に取るようにわかる。しかも普天間飛行場周辺には民家が密集しており、住民の不安は増すばかりだ。「われわれは沖縄県民の身になって、もっと真剣に考えるべきだ」。自省の念を込めて、そう考えている。

真山隆夫



大腸がんの権威 渡邊聡明東大教授 (75期)



厚生労働省によると、日本人の死因のトップはがん。約3割の人ががんで死亡している。東京・本郷の東大病院にも、最新のがん治療を求める患者が多数やって来る。ここで、若手医師を率いて大腸がんなどの治療の先頭に立っているのが東京大学医学部腫瘍外科教授の渡邊聡明^{としあき}氏。病院内の肩書きは「大腸肛門外科学科長」だ。

出身は伊那市。中学3年生の時に父親の実家がある上田市に引っ越し、上田高校に入学した。高校時代で一番の思い出は、A F Sの試験に合格し3年生の7月から1年間、米国に留学したこと。

「留学先はカリフォルニア州中部の町の公立高校。当時は白人、黒人、日系人などのクラスと、不法移民のメキシコ人のクラスが分かれていました。学業レベルは上田高校ほど高くなく、のんびりした生活を送りました」

帰国後、3年生のクラスで半年間学んだ後、東大理科1類に合格。工学部で建

築を勉強しようと考えていたが、専門課程の3年に進む直前に突然、方針転換する。

「父親が亡くなったことなどが契機となり、医学の道に進みたいと思う気持ちが強くなりました。悩み抜いた末に、理科3類(医学部)の試験を受け直すことにしたんです。今思うと、人生で一番難しい決断でした」。結局、米留学

と合わせて計3年間、普通の人より遅れて医学部に入学した。

卒業後は東大病院の第1外科(現在の腫瘍外科)の医員などした後、国立がん研究センターでチーフレジデントとして手術の腕を磨く。さらに1995年から2年間、米国の名門ジョンズホプキンス大学に留学し、大腸がんの発がん遺伝子について研究。「米留学では、大腸がんの多段階発がんモデルを提唱した世界的に有名なフォーゲルシュタイン先生の教えを受けることができ、充実した毎日でした」

帰国後、東大医学部講師、助教授などを経て、2006年から6年間、帝京大学医学部外科教授を務めた。この間、2010年9月には帝京大学医学部附属病院で多剤耐性アシネトバクターの院内感染が発生。「当時、副院長補佐をしていたので、厚労省、警視庁、マスコミの対応に苦労しました」と振り返る。

2012年4月に東大医学部教授に就任



東京・本郷の東大病院(後方に東京スカイツリーが見える)

してからは、患者の負担を最小限にとどめる「腹腔鏡手術」を積極的に導入。7月からは最新鋭の手術支援ロボットによる「ダビンチ手術」も開始した。これは、医師が患部の立体画像を見ながら、遠隔操作でアームを動かす画期的な手術法。大腸外科でのダビンチ手術は日本では始まったばかりだという。

外科医の仕事はハードワークだ。夕方、教授室で行われたインタビューの最中にも携帯電話が2回鳴った。オペ中の手術室からの呼び出しだった。

最後に「いい医者とは？」と聞くと、しばらく考えてから「逃げない医者、真剣に患者と向かい合うことができる医者でしょうね」との答えが返ってきた。困難な状況に直面しても、責任逃れをせずに、自分の意見を患者に伝えることが大切だという。

「辛いことばかりですよ」とつぶやく言葉の裏に、人の命を預かる医師の責任の重さが垣間見えた。



ホームページが変わります！

2013年1月1日から関東同窓会のホームページが変わります。

情報が新鮮で見やすく、会員による活用が容易なHPとするために、トップページではメニューを整理統合してプルダウンメニュー化、「トピックス一覧」の表示をするなどし

て、全体の構成を見やすくしました。

また、情報交換を活発にするために「掲示板」に加えて「ブログによる意見・情報交換」も可能としました。初めての試みですが、投稿された情報のコメント欄に感想、意見を入力すると意見交換ができます。